



市人権講演会に500人が参加

7月29日、講師に女優の真屋順子さんと俳優の高津住男さんご夫妻を招き、「ありのままに生きる」と題した

養父市人権講演会（養父市人権教育推進協議会ほか主催）を八鹿文化会館ホールで開催しました。

真屋さんは7年前、病に倒れ、体が不自由になってからの人とのふれあいや体験を語り、高津さんは「障害があるうがなかるうが、人が共生していくうえにおいて垣根はない」と講演を結びました。

また、真屋さんは「必ず体がよくなると信じ、今後もあきらめずに前へ進んでいきたい」と力強く話しました。



東鉢伏高原でラベンダーフェスティバル

7月16日、恒例のラベンダーフェスティバルが別宮のハイパーポウル東鉢スキー場内のラベンダーガーデンで開催されました。

これは、夏山の新たな魅力を創り地域活性化を図ることを目的に、別宮地区の皆さんらが運営する東鉢伏高原体験村の主催で行われたもので、会場には約1万株のラベンダーが咲き、一帯はすがすがしい香りに包まれていました。

来場者は、ラベンダーの摘み取りのほか、ラベンダーを編み込んで作るラベンダースティックの制作教室やラベンダーティーの試飲などを楽しみました。



ラベンダーの摘み取りを楽しむ来場者

西野桃笠さんが毎日書道展で会員賞を受賞

このたび、八鹿町八鹿の西野桃笠さん（本名・山根千秋さん）が、第59回毎日書道展の近代詩文書部門においてグランプリにあたる「会員賞」を受賞しました。

西野さんは、書家・西野象山さん、玉龍さんを両親に持ち、その指導のもとで3歳から書を始めました。これまでも同書道展での入選・入賞をはじめ、日展で入選3回のほか数多くの賞を受賞。また、自宅などで幼児から大人までを対象に書道教室を開いています。

受賞作の「星」は、師匠との思い出が深い詩を題材にしたもので、約600枚の候補の中から選んだ力作。西野さんは「両親に少しでも近づけるように幼少の頃から励み、その結果として作品が認められたことがうれしい。これからも、ふるさとや家族、仲間を大切にしながら作品を発信していきたい」と受賞の喜びと今後の抱負を語りました。



西野さんと受賞作「星」